

脳梗塞の最新治療 症状見逃さないで

札幌宮の沢脳神経外科病院
脳神経外科部長 古明地 孝宏

脳梗塞は、血管が動脈硬化で細くなる、心臓でできた血栓が流れて脳血管が詰まるなどして起こります。時間がたつほど脳細胞へのダメージが広がり、後遺症が残る危険性が高まります。

脳梗塞の治療法には、血栓を薬で溶かす「tPA」がありますが、発症後4時間半以内という使用基準があり、また大きな血栓に対しては効果が弱く、満足いく結果は得られていませんでした。

ところが近年、血栓を溶かすのではなく、血管内に挿入した専用の治療器具で取り除くという画期的な治療法が登場しました。特殊な形状のステントに血栓を引っ掛けて回収する方法と、極太の吸引カテーテルで、掃除機を使ってゴミを吸い取るようにして血栓を取り除く方法とがあります。どちらの方法も、その安全性と有効性が証明され、患者さんには大きな福音となっています。

ただし、脳梗塞は時間との勝負です。どんなに有効な治療にもタイムリミットがあります。検査や治療の準備にかかる時間を考慮すると、発症から3〜4時間以内には病院に到着してはなくてはなりません。どちらか片方の手足に力が入らない、言葉がうまくしゃべれなかったり舌がもつれたりする、などの症状に気付いたら、ためらわずに救急車を呼んでください。1分でも早く病院にたどり着くことが何よりも重要です。



地下鉄東西線「宮の沢」駅 5番出口から徒歩4分

西区

■診療科目／
脳神経外科・神経内科・整形外科
糖尿病内科・リハビリテーション科

■外来診療時間／
月～金曜 9:00～12:00・13:00～17:00 土曜 9:00～12:00

24時間救急対応

脳ドックあり

明日佳グループ
札幌宮の沢脳神経外科病院

札幌市西区西町南20-1-30 (旧国道5号沿い)

☎011-664-7111